

第137回 全国大学国語教育学会 仙台大会 プログラム

1. 日時 2019年10月26日(土)～27日(日)

2. 会場 宮城教育大学 青葉山キャンパス (〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉149)

3. 後援 宮城県教育委員会(申請中)・仙台市教育委員会(申請中)

4. 日程

□編集委員会 10月25日(金) 13:00-17:30 ホテルメトロポリタン仙台(五階「松」)

□常任理事会 10月25日(金) 18:00-21:00 同上(4階「萩」)
(〒980-8477 仙台市青葉区中央1-1-1 JR仙台駅向かい)

【第1日目 10月26日(土)】

8:45 9:30~12:40 12:50 ~ 13:50 14:00~15:00 15:10~17:30 18:30

受付	自由研究 発表		昼食 理事会 院生・若手交流企画		総会		シンポジウム	移動	懇親会
----	------------	--	------------------------	--	----	--	--------	----	-----

【第2日目 10月27日(日)】

9:00 9:30~12:00 12:10 ~ 12:50 13:00 ~ 16:10

受付	課題研究発表		昼食 研究部門委員会 テキスト編集委員会		自由研究発表 公開講座 ラウンドテーブル
----	--------	--	----------------------------	--	----------------------------

5. プログラム

【第1日目 10月26日(土)】

◎自由研究発表 9:30~12:40 *3題発表後、10分間休憩<2号館・7号館>
*発表者等のご所属は、エントリー時のご本人の記載に拠っています。

■第1会場 司会：町田守弘(早稲田大学)・佐野比呂己(北海道教育大学)<221教室>

- A1 話し合いにおける意見の受容プロセス—小学校2年生の場合—
明尾香澄(広島大学大学院・院生)
- A2 児童のコミュニケーション能力を伸ばす教育方法
蘆嘉依(広島大学大学院・院生)
- A3 コミュニケーション能力の向上を目指した授業開発—外国語映画を利用して—
リクゼン(広島大学大学院・院生)
- A4 話し合い学習におけるメタ認知的知識の実相—小学校6年生のある話し合い学習に
注目して—
大村幸子(武蔵野市立桜野小学校)
- A5 グループディスカッションにおける「話をつなぐ」行為の実態調査①
北川雅浩(熊本大学)
- A6 自律的に話し合う力を育てるための授業開発—小学校高学年を対象とした実践の分
析を中心に—
上山伸幸(創価大学)

- 第2会場 司会：桑原隆（元筑波大学）・河野智文（福岡教育大学） 〈224教室〉
- B1 1920年代の「国定読本」と「朝鮮読本」の共通性—芦田恵之助の教育方針を中心に—
KIMBoye（筑波大学大学院・院生）
- B2 1970年代前期における大村はま話しことば学習指導の検討—話し合い・討議の学習指導に着目して— 伊木洋（ノートルダム清心女子大学／広島大学大学院・院生）
- B3 国分一太郎の「教育・国語教育」論と「文学科」独立論との相互交渉—国分一太郎の文学創作活動からのアプローチ— 田中俊弥（大阪教育大学）
- B4 国分一太郎の綴り方教育論—「もんぺの村新聞」による表現指導—
佐内信之（東京学芸大こども未来研究所）
- B5 戦後児童詩教育の研究⑥—雑誌「きりん」と生活綴り方実践との比較—
今宮信吾（桃山学院教育大学）
- B6 沖縄と生活綴り方（1）—『綴り方風土記』第八巻九州・琉球篇を中心に—
村上呂里（琉球大学）
- 第3会場 司会：植山俊宏（京都教育大学）・吉川芳則（兵庫教育大学） 〈229教室〉
- C1 国語科の論理的思考力育成における主張の把握の位置づけの検討
篠崎祐介（玉川大学） 青木幹昌（高崎市立倉賀野小学校）
- C2 俳句の鑑賞・批評を通して育成する論理的思考力と批評力—言葉による見方・考え方を働かせた句会を通して— 國原信太郎（京都教育大学附属京都小中学校）
- C3 中・高等学校における論理的思考力を育成する教材の開発
長谷川祥子（青山学院大学）
- C4 主体的な読みを目指す説明的文章の授業の構想 中村暢（熊本市立隈庄小学校）
- C5 戦後説明的文章指導論始動期の再検討(2)—関係重要概念の胚胎と関係化—
植山俊宏（京都教育大学）
- 第4会場 司会：三浦和尚（愛媛大学）・堀江祐爾（神戸女子大学） 〈231教室〉
- D1 「よい子」を支える読むことの教育の研究—情動表出に注目して—
一色美緒（広島大学大学院・院生）
- D2 「自分ごと」の学びを志向する実践者の意識—高校国語科教師を対象としたインタビューの分析を通して— 金田唯人（北海道教育大学大学院・院生）
- D3 古典学習における資質・能力の育成に関する研究—高等学校での抽出生徒の変容過程に着目して— 大谷維吹（東京学芸大学大学院・院生）
- D4 教師教育における教員研修の成果の再現性に関する研究—中学校1年教材「花曇りの向こう」を例に— 針尾有章子（京都府総合教育センター／京都教育大学院・院生）
- D5 生徒観はどのようにつくられるのか 田中耕司（島根大学）
- D6 すぐれた「言葉の教育者」となるためにどのようなことが求められているか—*Standards for the Preparation of Literacy Professionals 2017* (ILA) を中心に—
堀江祐爾（神戸女子大学）
- 第5会場 司会：松山雅子（四天王寺大学）・中村敦雄（明治学院大学） 〈230教室〉
- E1 ICTを活用した「評価読み」の実践 高井太郎（北海道教育大学附属函館中学校）
- E2 小学校におけるメディア教材を活用した国語科学習指導
松岡礼子（大阪教育大学） 粟野志保（吹田市立吹田第一小学校）
- E3 デジタル・リテラシーの評価 足立幸子（新潟大学）
- E4 1950年代アメリカにおける話題単元・主題単元への評価 池田匡史（兵庫教育大学）
- E5 日本型国語教育の海外展開に関する研究—JICA「ミャンマー国初等教育カリキュラム改訂プロジェクト」による小学校1年生用教科書作成過程の検討—
長田友紀（筑波大学）
- E6 イギリス現職教育にみる小中連繋国語科学習指導 松山雅子（四天王寺大学）

- 第6会場 司会：河野順子（白百合女子大学）・難波博孝（広島大学） 〈236教室〉
- F1 〈見えないマイノリティ〉のアイデンティティ形成の課題—文化・言語を移動する学習者にとっての”ことば”とは— 丸田健太郎（広島大学大学院・院生）
- F2 〈解離〉を抱える学習者ための『羅生門』論—〈解離〉する語り手に注目して— 河上裕太（広島大学院・院生）
- F3 教科書教材に描かれる認知症—江國香織「晴れた空の下で」— 石元みさと（都留文科大学非常勤）
- F4 国語科教材のジェンダー分析とその指導方法 木村季美子（奈良県立添上高等学校）
- F5 植民地朝鮮における初等教育読本の形式—第2期『普通学校国語読本』（芦田恵之助編）を主たる対象として— 勘米良祐太（浜松学院大学）
- F6 フクシマの短歌にみる原子力エネルギーのリスク—国語科におけるトランス・サイエンスのリスク・アセスメントのための教材化— 酒井雅子（東京成徳大学）

- 第7会場 司会：藤森裕治（信州大学）・望月善次（元岩手大学） 〈720教室〉
- G1 国語科における「個別化・個性化」教育の研究—国語単元学習の実践に着目して— 金春玉（東京学芸大学大学院・院生）
- G2 [発表辞退]
- G3 演劇的な解釈活動を用いた創造的な物語読解単元の探究—『注文の多い料理店』（5年）の実践— 高井大輔（大阪市立磯路小学校）
- G4 主体的・対話的で深い学びを実現する教具「読み深めカード」—53枚のカードで、教室が白熱する— 犬飼龍馬（立命館守山中学・高等学校）
- G5 プレイフルな国語科授業の探究—書くことの指導を中心に— 香月正登（梅光学院大学）
- G6 「深い学び(deep learning)」に対する実践的—提案 望月善次（元岩手大学）

- 第8会場 司会：間瀬茂夫（広島大学）・内藤一志（北海道教育大学） 〈730教室〉
- H1 中学校・読むことの学習における学習意義の実感に関する研究(2)—「報告書」という学習成果に対する学習者の認識を中心に— 中山莉麻（京都教育大学附属桃山中学校／京都教育大学大学院・院生）
- H2 小学校国語科授業における読書会の可能性—「気配」を読みの手がかりとして— 吉岡尚孝（大阪教育大学附属天王寺小学校）
- H3 「見る」を含む学習の系統性（5）—源氏物語「若紫」— 坂東智子（山口大学）
- H4 リーディングスキルテストと学力調査の相関からとらえた読解力に関する研究 間瀬茂夫（広島大学） 富安慎吾（島根大学）
- H5 読むことの学習指導における「選択する学び」と評価—Gordon(2018)No More Fake Readingを手がかりとして— 山元隆春（広島大学）

◎理事会 12:50～13:50（昼食を準備します） 〈萩朋会館大集会室〉

◎院生・若手交流企画 12:50～13:50 〈萩朋会館集会室〉

◎総会 14:00～15:00 〈講堂〉

◎シンポジウム 15:10~17:30

〈講堂〉

国語科教材研究の再構築—国語科のコンテンツとコンピテンシーからみた不易と流行—

シンポジスト 植山俊宏 (京都教育大学)

住田 勝 (大阪教育大学)

羽田 潤 (兵庫教育大学)

コーディネーター 児玉 忠 (宮城教育大学)

◎懇親会 18:30~20:30

〈宮城教育大学青葉山キャンパス 萩朋会館内大学食堂〉

【第2日目 10月27日(日)】

◎課題研究発表 9:30~12:00

〈講堂〉

国語教育の多層性①: 改正入管法を受けて、子どもたちの言語教育をどう保証していくか

登壇者 細川英雄 (早稲田大学名誉教授)

南浦涼介 (東京学芸大学)

山田深雪 (玉川大学)

コーディネーター 難波博孝 (広島大学)

◎研究部門会議 12:10~12:50 (昼食を準備します)

〈萩朋会館大集会室〉

◎テキスト編集委員会 12:10~12:50 (昼食を準備します) 〈萩朋会館集会室〉

◎自由研究発表 13:00~16:10 *3題発表後、10分間休憩 〈2号館・7号館〉

■第1会場 司会: 塚田泰彦 (関西外国語大学)・坂口京子 (静岡大学) 〈221教室〉

I 1 国語科における「語彙学習力」の育成—語句を捉える観点を豊かにする指導—

萩中奈穂美 (福井大学)

I 2 認知論的アプローチに着目した語彙指導研究—偶発的語彙学習に焦点を当てて—

岡本岳之 (北海道教育大学旭川校大学院・院生)

I 3 語彙知識の深さ、再考

塚田泰彦 (関西外国語大学)

I 4 言語文化としての古典語彙—教材・擬古作文に見られる古語の分析とICT教材の開発—

河内昭浩 (群馬大学)

I 5 接続表現に着目した語彙指導の研究 開田晃央 (茨城大学教職大学院・院生)

I 6 [発表辞退]

■第2会場 司会: 小川雅子 (山形大学)・細川太輔 (東京学芸大学) 〈224教室〉

J 1 幼児教育と小学校教育をつなぐ「ことば」の教育接続期カリキュラムに関する調査をもとに

春木憂 (福山市立大学) 森美智代 (福山市立大学)

J 2 [発表辞退]

J 3 保育内容 (言葉) と小学校国語科の接続における昔話の教材研究

増田泉 (新島学園短期大学)

J 4 小学校国語科における口頭作文の学習評価の研究

小川智勢子 (埼玉県三郷市立吹上小学校)

J 5 意見文算出過程を踏まえたライティング・ワークショップ

岡本優 (岩手大学教職大学院・院生)

■第3会場 司会：大内善一（元茨城大学）・鶴田清司（都留文科大学） 〈229教室〉

- K1 “優劣のかなたに”の具現化「同時異学習」による国語単元学習の研究(小1)
佐々木智也(さいたま市立上木崎小学校)
- K2 国語科学習用語の習得・活用に関する実践的研究
片山守道(お茶の水女子大学附属小学校)
- K3 「言論の技術」としてのレトリックの全体構造—プラトンにおける「レトリック批判」問題の検討を通して—
新妻千紘(東京学芸大学大学院・院生)
- K4 中学校国語科における定期考査作成過程の検討—全国学力・学習状況調査・高校入試・学習指導要領を土台にして—
菊野雅之(北海道教育大学) 佐々木来望(北海道教育大学教職大学院・院生)
- K5 言語技術教育からみた佐藤康子教諭の「読むこと」の学習指導—「語り合い、聴き合う」活動の成立—
大内善一(元茨城大学)

■第4会場 司会：田中宏幸（安田女子大学）・足立幸子（新潟大学） 〈231教室〉

- L1 文章観の相違による文章ジャンルの取り扱い方の諸相
鄭一葦(筑波大学大学院・院生)
- L2 学齢による程度修飾表現の発達程度の大小に着目して
森下渉(筑波大学大学院・院生)
- L3 高等学校国語科における「書くこと」と〈探究〉—国語総合教科用図書「書くこと」教材の分析を手掛かりに—
濱野天司郎(埼玉大学大学院・院生)
- L4 文末の思考判断動詞からみた小論文と学術論文の文体差—大学生のアカデミックライティング教育に向けて—
酒井晴香(筑波大学大学院・院生) 関玲(筑波大学大学院・院生)
- L5 小学校国語科「書くこと」における物語創作の言語活動の展開に関する研究—第1学年単元名「「そうぞう力」をつかって、ものがたりをつくろう」の検討を通して—
秋保恵子(東京純心大学)
- L6 小・中学校説明的文章における機能語の出現状況—「情報の扱い方に関する事項」の指導を考えるために—
松崎史周(国士舘大学)

■第5会場 司会：府川源一郎（日本体育大学）・望月善次（元岩手大学） 〈720教室〉

- M1 文学の授業における学習者の「問い」の変容に関する考察
立石泰之(福岡県教育センター／福岡教育大学大学院・院生)
- M2 「第三項理論」と「縁(フチ)・意識」から考える文学教育—日中の『故郷』の作品観を通して—
雷民激(広島大学大学院・院生)
- M3 [発表取り消し]
- M4 物語のプロットを捉え一貫性を形成する過程の研究—「一つの花」最後の一文の語りに着目して—
岩崎直哉(新潟市立大形小学校)
- M5 「語り手との対話」における段階的な徴標—小学校中学年と高学年の授業分析から—
小川高広(上越市立南川小学校)
- M6 『故郷』の竹内好訳を読み直す—教科書訳と原文の「興奮」「二十年」を比較しての提案—
田中成行(岩手大学)

■第6会場 司会：藤井知弘（岩手大学）・島田康行（筑波大学） 〈730教室〉

- N1 「違和感」を活用した意見文の推敲視点の方略化に関する研究
小野田磨柚(向日市立勝山中学校非常勤)
- N2 小学校入門期における子どもの書字実態に関する考察 森美智代(福山市立大学)
- N3 引用を用いて文章を書くことに関する研究—引用に関するメタ認知的知識に着目して—
富士田匠(東京学芸大学大学院・院生)
- N4 児童作文の評価項目に関する予備的検討—紹介文に見る内容的観点と計量的観点—

- 成家雅史（東京学芸大学附属小金井小学校） 土屋晴裕（東京学芸大学附属大泉小学校）
 安部真治（東京学芸大学大学院・院生） 大澤千恵子（東京学芸大学）
 齋藤ひろみ（東京学芸大学） 白勢彩子（東京学芸大学） 中村和弘（東京学芸大学）
 N5 児童・生徒の作文における誤りの発生と修正 安部朋世（千葉大学） 橋本修（筑波大学）
 西垣知佳子（千葉大学） 田中佑（文部科学省） 永田里美（明星大学）
 N6 「共創」を基盤とする「国語単元学習」の学習理論 藤井知弘（岩手大学）

◎公開講座 13:00～16:10 <220教室>

国語科における「論理」教育の射程～「論理国語」の実施も見据えながら～

第1回 説明的文章の「論理」の読みの指導の理論と実践

話題提供者 守田庸一（三重大学）
 舟橋秀晃（大和大学）
 澤口哲弥（三重県立飯野高等学校）
 難波健悟（岡山県立津山東高等学校）

コーディネーター 古賀洋一（島根県立大学）

◎ラウンドテーブル 13:00～16:10

R1 実社会・実生活に生きて働く言葉の力を捉え直す—ことばの教育を考える(8)—

<232教室>

コーディネーター 稲井達也（日本女子体育大学）
 登壇者 小川一美（東京都立小石川中等教育学校）
 畑 綾乃（筑波大学附属高等学校）
 小沢貴雄（文化庁）

R2 比較国語教育の新たなパラダイムを求めて

<233教室>

コーディネーター 浮田真弓（岡山大学）
 登壇者 甲斐雄一郎（筑波大学）
 森田香緒里（宇都宮大学）
 長田友紀（筑波大学）

R3 国語科教育における「読解力」を問い直す—リーディングスキルテストをめぐる議論を中心に—

<230教室>

コーディネーター 間瀬茂夫（広島大学）
 登壇者 犬塚美輪（東京学芸大学）
 冨安慎吾（島根大学）
 荷方邦夫（金沢美術工芸大学）
 石田喜美（横浜国立大学）

R4 あまんきみこ研究の現状と課題

<236教室>

コーディネーター 宮川健郎（武蔵野大学非常勤）
 登壇者 中地 文（宮城教育大学）
 宮田航平（東京都立産業技術高等専門学校）
 村上呂里（琉球大学）

【全ての発表等にあたっての留意事項】

○自由研究発表、ラウンドテーブル、公開講座の配付資料は、A4サイズで150部ご持参ください。なお、大会事務局では印刷の対応はいたしませんのでご了承ください。

○発表にプレゼンテーションソフトを利用する場合、パソコンは発表者ご自身のものをご

使用ください。会場はすべてRGBのみの対応です。WinでHDMIに接続する場合は接続アダプターを、MacはD-sub15ピンケーブルと接続アダプターをご準備ください。なお、準備時間も発表時間にも含まれます。

○発表資料は、発表者ご自身で会場までご持参ください。各会場にて担当スタッフが設置いたします。

○公開講座、ラウンドテーブルの資料も、発表者ご自身で会場まで持参ください。各会場にて担当スタッフが配付等のお手伝いをいたします。

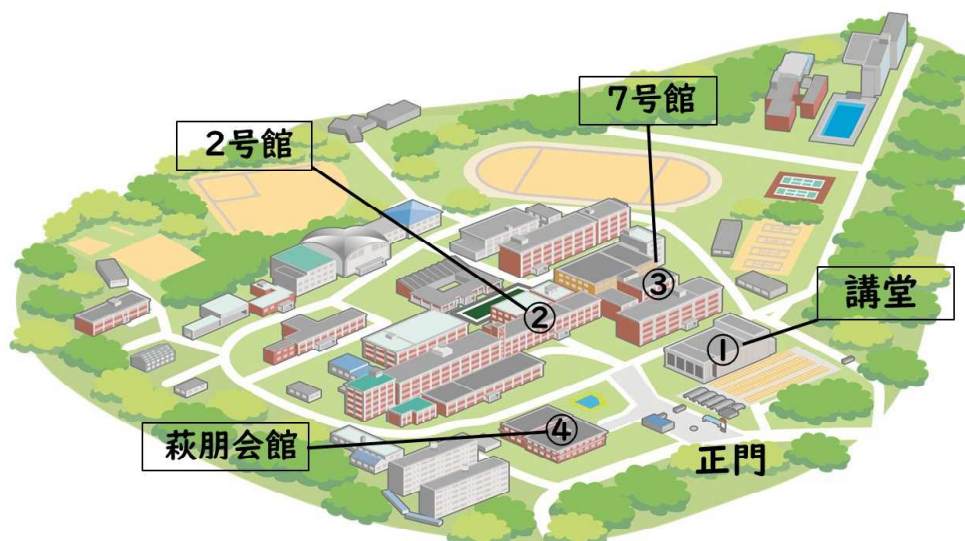
○発表資料を事前に大会事務局でお預かりすることはできません。ご了承ください。

○発表資料の残部については、発表者が各自お持ち帰りください。

○分科会に参加せず発表資料のみを取る場合は、当該の発表終了後にお願いいたします。

○シンポジウム、課題研究発表の配付資料は、450部ご持参ください。そのほか、パソコン、プロジェクター（プレゼンテーションソフト）の使用等については、コーディネーターの方とご確認ください。

6. 会場案内



○受付、全体会（1日目午後の総会、シンポジウム、2日目午前の課題研究発表）は、「講堂」（上図①）にて行います。

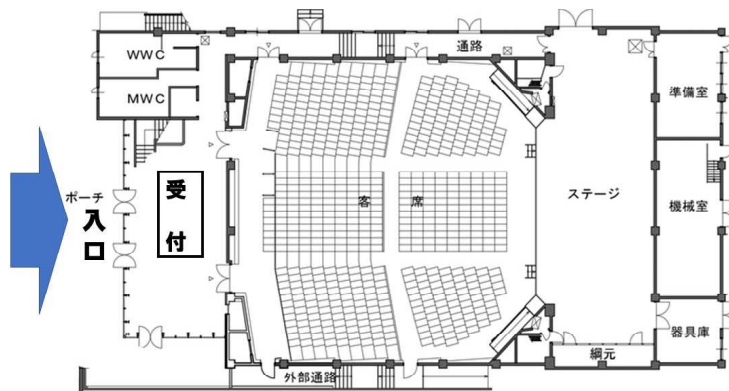
○自由研究発表、課題研究発表、公開講座、ラウンドテーブルは「2号館」（上図②）と「7号館」（上図③）にて行います。

○理事会、院生・若手交流企画、研究部門委員会、テキスト編集委員会、懇親会は「萩朋会館」（上図④）にて行います。

○その他、詳細は当日の案内（『発表要旨集』、スタッフの誘導）にてご確認ください

7. 「講堂」・「2号館」・「7号館」・「萩朋会館」案内図

○講堂



1日目：
 8：45～受付
 12：30～弁当引き渡し
 14：00～総会
 15：10～シンポジウム
 2日目：
 9：00～受付
 9：30～課題研究発表
 12：00～弁当引き渡し

○2号館

2日目：R 2

2日目：R 1

1日目：第6会場
 2日目：R 4

1日目：第4会場
 2日目：第4会場

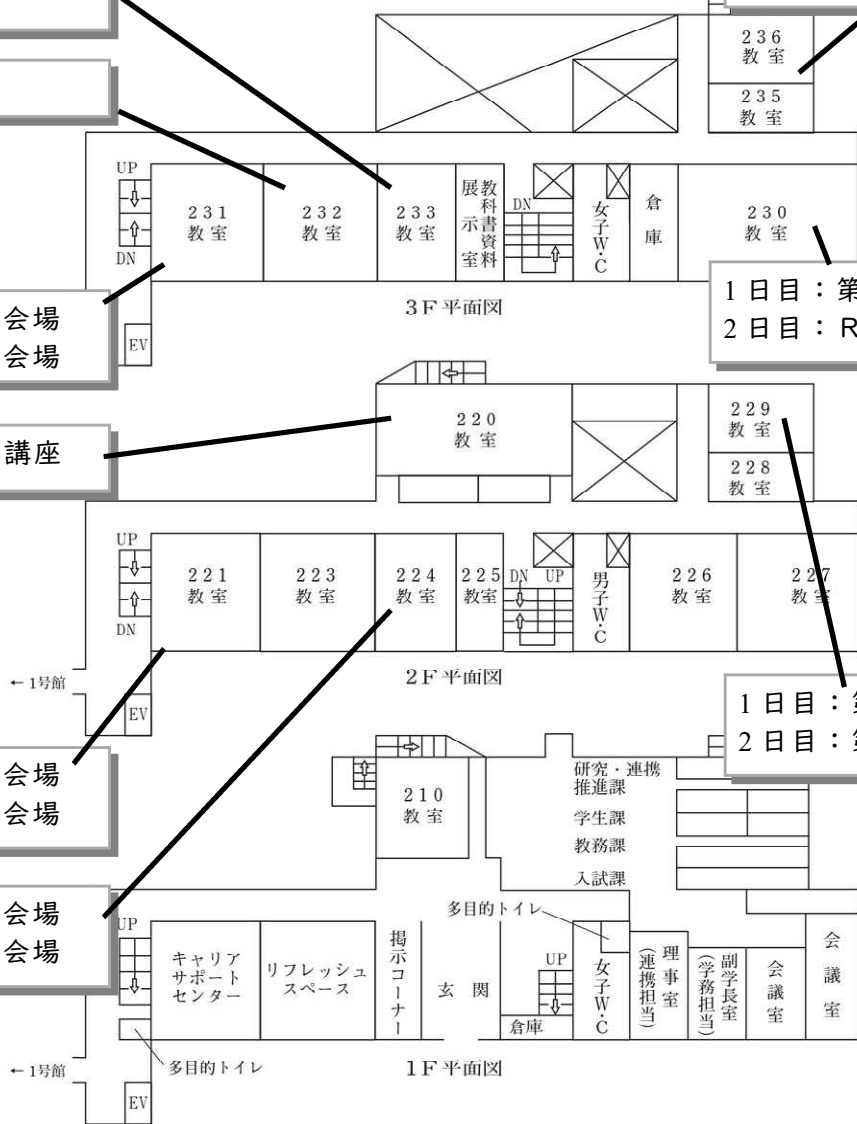
2日目：公開講座

1日目：第5会場
 2日目：R 3

1日目：第1会場
 2日目：第1会場

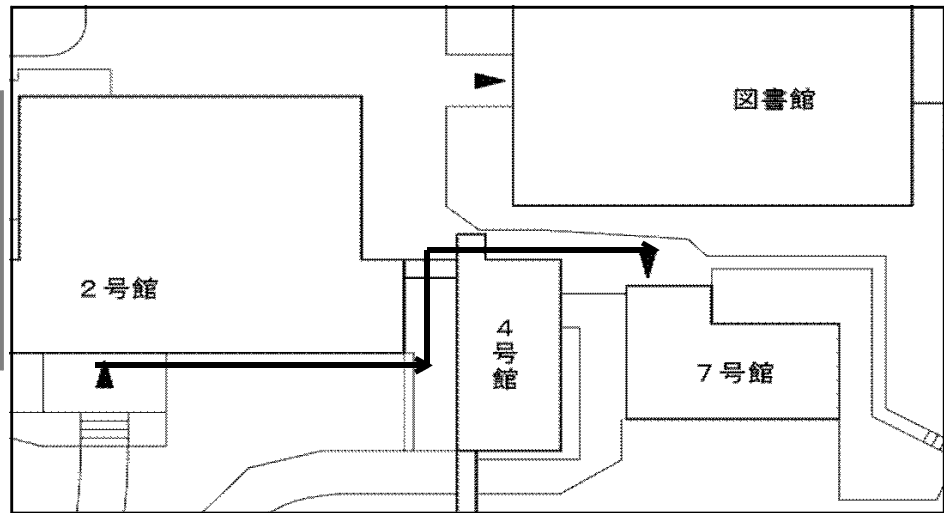
1日目：第2会場
 2日目：第2会場

1日目：第3会場
 2日目：第3会場

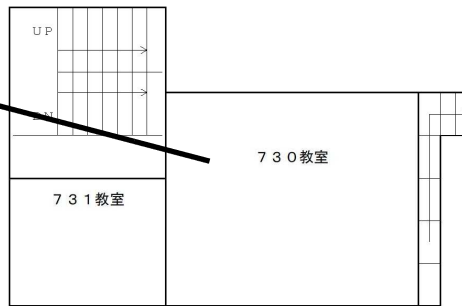


○7号館

7号館への移動は、2号館前のアーチを通して移動してください。

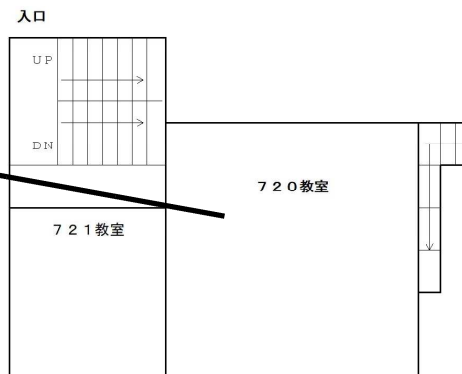


1日目：第8会場
2日目：第6会場



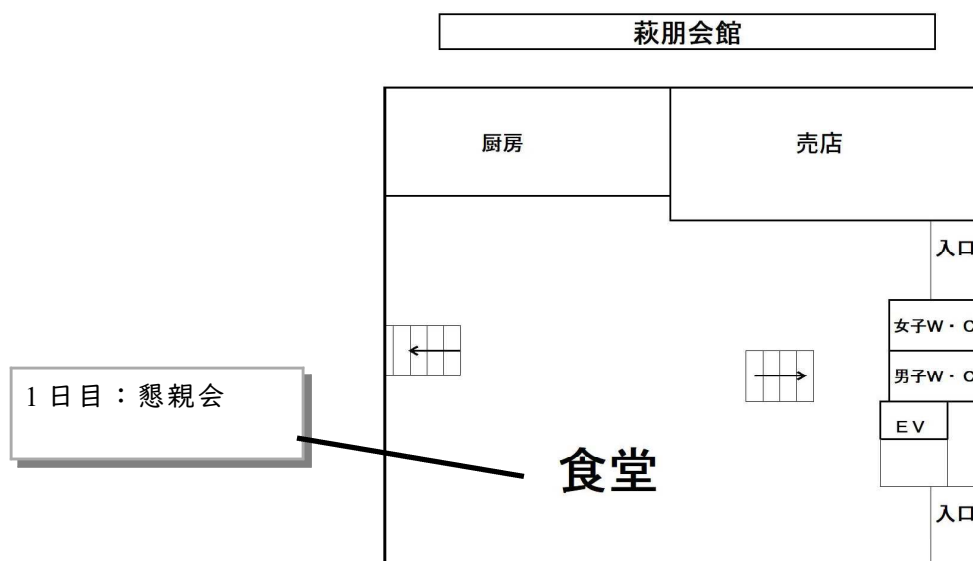
3 F 平面図

1日目：第7会場
2日目：第5会場

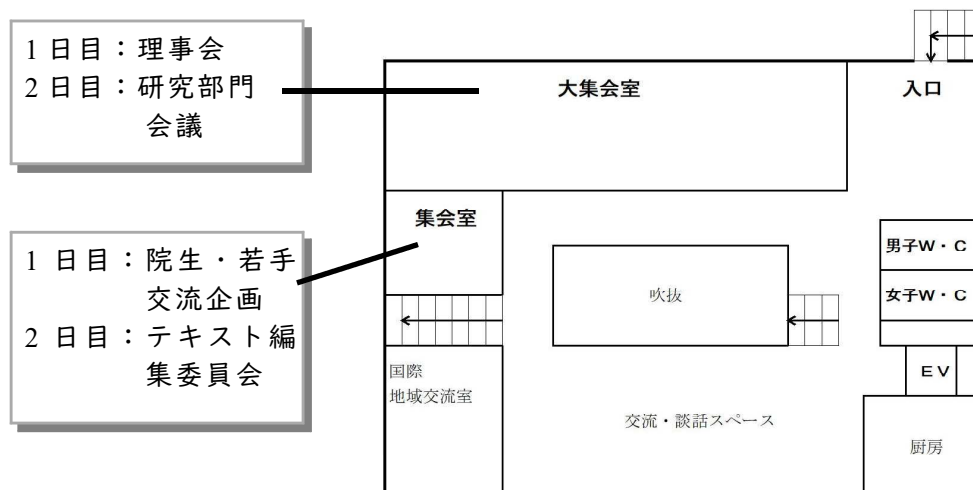


2 F 平面図

萩朋会館



1 F 平面図



2 F 平面図

8. 昼食に関するご案内

○お弁当の申し込みをされた方は、「講堂」（上図①）ロビーにてお受け取りください。当日の販売はありません。

○昼休みに行われる理事会、研究部門会議、テキスト編集委員会に出席される方は、それぞれ会場に昼食（お弁当）を準備しておきます。

○シンポジウム、課題研究発表、公開講座に登壇される方の昼食については、それぞれの担当者（コーディネーター）から連絡があります。

○昼食を持ち込まれる場合、ごみは各自で責任を持って処分をお願いいたします。

○1日目（26日）は、「萩朋会館」（上図④）の学生食堂を利用することもできます。

2日目（27日）は営業していませんのでご注意ください。